

虫垂切除術を受けられる患者さんへ

患者氏名:		主治医名:		担当医名:				受持看護師名:							
月日(日時)		/		/		/		/							
経過(病日等)		手術当日(手術前)		手術当日(手術後)		手術後1日目		手術後2日目		手術3～5日目		手術後6日目		手術後7日目(退院)	
達成目標		・手術について理解し、同意している。		・麻酔の副作用・合併症がなく経過する(麻痺、頭痛、出血)。 ・創痛がコントロールできる。		・創部の腫脹や発赤がない。 ・創痛がコントロールでき歩行できる。 ・食事摂取することができる。		・シャワー浴ができる。				・退院後の生活について理解することができる。			
治療・薬剤(点滴・内服) リハビリ		・浣腸があります。 ・内服は別途指示があります。 ・入院前に飲んでいた薬があれば、お知らせください。 手術の開始時間は()時頃です。		・点滴が続いてあります。抗生剤の点滴もあります。 ・痛みがある時はお知らせください。 ・痛み止めの点滴、坐薬を使用します。		・点滴があります。 ・点滴終了後、針を抜きます。 								・医師の診察後、許可が出れば、退院です。	
処置		・下腹部の除毛、お臍の処置を行います。 ・血栓予防のため弾性ストッキングを履きます。				・創部の観察をします。 ・歩行できれば弾性ストッキングを脱ぎます。								・創部の観察、抜糸をします。	
検査						・血液検査をします。		・検査がある場合は事前にお知らせします。							
活動・安静度		・()時頃から手術の準備をします。		・ベッド上安静となります。		・主治医の許可が出れば歩行できます。最初はふらつくことがあるので、看護師が付き添います。		・制限はありません。							
食事				・絶食です。水も飲めません。 ・口が渴いたら、うがいのお手伝いをします。おっしゃってください。		・主治医の診察後、許可が出れば、飲水、食事ができます。 									
清潔		・手術室控室にて手術着に更衣をします。				・温かいタオルで体を拭きます。		・主治医の許可が出れば防水テープで創部を保護し、シャワーすることができます。 							
排泄		・浣腸後、排便があればお知らせください。		・ベッド上での排泄となります(尿が出ない時は一時的に管を入れて導尿することがあります)。		・歩行の許可が出たらトイレに行けます。									
患者様及びご家族への説明・生活指導・リハビリ指導・栄養指導・服薬指導		・主治医から入院診療計画書・手術の説明をします。 ・各同意書の確認を行います。 ・手術に必要な寝衣1枚、バスタオル1枚、T字帯1枚、腹帯1枚の準備をお願いします。 ・手術中は家族のどなたかが待合室、または病室でお待ちください。 ・手術時間は前後の手術の関係上、多少変更することがありますが、その都度、お伝えします。 												退院後の生活について説明します。 ・創部に異常(出血、腫れ、痛みなど)を感じたり、熱が出るなどしたら、外来を受診してください。 ・なるべく下腹部に力がかからないよう心掛けてください。(手術後1か月程は、重いものを持つのを控える、また激しい運動は避けるようにして下さい)。 	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

